

「ポーターズ学齡期生活支援ガイド」 —豊かな自立生活をめざして—

日本ポーターズ協会杉並和田支部が、「ポーターズ早期教育プログラム」や「グループ指導カリキュラム」を基盤に、学齡期以降のポーターズ相談の指針として、「ポーターズ学齡期生活支援ガイド」を作成しました。

生活支援ガイドの構成



特徴

- 乳幼児期からの相談を、移行して継続できるのはもちろん、小学校入学後でも相談を開始できます。
- 学齡期に達成していることが望ましいことをまとめた活動目録を使って、子どもができるようなこと、やりたいこと、できるとよいと思うことをみつけて、応用行動分析の技法を適用して達成をめざします。
- 親（保護者）や子どもは「できた」経験が増えて、ポジティブな気持ちで将来の自立生活への準備ができます。
- 放課後等デイサービスなどの事業所や学校と家庭をつなぐツールにもなります。



相談を受けたい保護者様、活用したい支援者、相談員、事業者の方は、こちらの2次元コードから詳細をご覧ください。

